

山下医院 フコイダン改善症例

STEMS inc.

フコイダン症例紹介①

M.K 59歳 男性

病名：前立腺癌、膀胱癌

フコイダン症例 M.K 59歳 男性 病名: 前立腺癌、膀胱癌

病歴: 2012年5月に膀胱癌の内視鏡手術を受けた。以後3ヶ月ごとに定期受診している。

2013年1月に特定検診で、**前立腺癌の診断**を受けた。

前立腺癌への**ホルモン療法**として**カソデックス1錠/日**を服用中。
また、10年前からB型肝炎で抗ウィルス剤**バルクード1錠/日**を服用している。

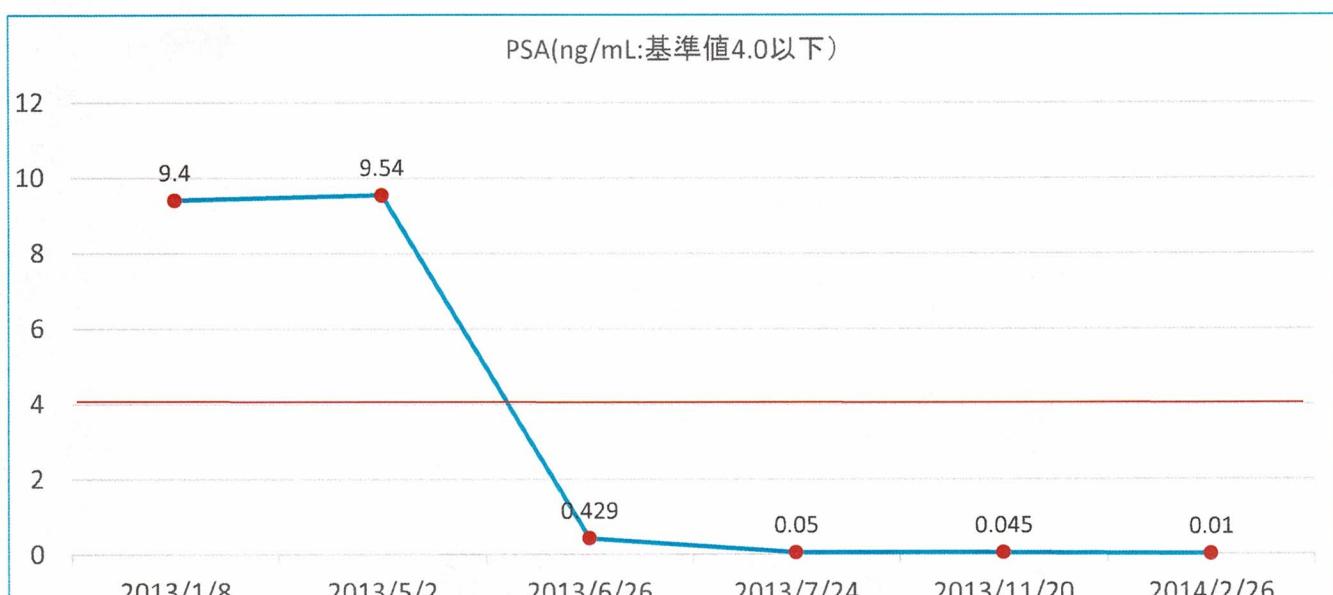
2013年1月の腫瘍マーカーPSAは9.40ng/ml(正常4以下)と高値で、カソデックス服用開始から5ヶ月経過しても腫瘍マーカーが低下せず、同年5月1日に当院受診。

初診時の当院での採血でも、**PSAは9.54と高値**であった。

当院のサプリメント、**ステムズ社製のフコイダン50ml/日飲用、セレン・パパイヤを5粒/日服用、加えて高濃度水素水温浴療法(フコイダン液100ml添加)週2回**行った。

同年6月25日の採血で、すでにPSAは0.429と、正常値に下がった。
以後の採血でもPSAは0.4付近で安定している。

画像診断上でも、**前立腺癌病巣は平成25年8月には既に殆ど消失しているとの報告**を受けている。
以後、経過良好。2014年8月26日受診時も、血尿も排尿困難も無く、**PSAは0.1感度以下**。



ホルモン療法
カソデックス1錠/日

山下医院通院自然療法開始
超低分子フコイダン+セレンパパイヤ+手技療法

フコイダン50mL/日

セレン・パパイヤ酵素サプリメント 5粒/日

報告書					
コード	903-10044	施設名	医療法人 山下医院	検査日	050290140 5月 1日 時
氏名		性別	男：二外人病棟	受付日	25年 5月 2日
生年月日	S 29年 2月 5日生 年齢	59才	診療科別	検査料目	25年 5月 10日 C 0061
カルテNo.	11866	疾患	透析	検査	
検査項目		H.L.	成績	単位	基準値
BFP		H	5.8 9.540	ng/mL	7.5未満
PSA				ng/mL	4,000以下
報告書					
コード	903-10044	施設名	医療法人 山下医院	検査日	062690144 6月 25日 時
氏名		性別	男：二外人病棟	受付日	25年 6月 26日
生年月日	S 29年 2月 5日生 年齢	59才	診療科別	検査料目	25年 6月 26日 0039
カルテNo.	11866	疾患	透析	検査	
検査項目		H.L.	成績	単位	基準値
PSA			0.429	ng/mL	4,000以下
報告書					
コード	903-10044	施設名	医療法人 山下医院	検査日	072490134 7月 23日 時
氏名		性別	男：二外人病棟	受付日	25年 7月 24日
生年月日	S 29年 2月 5日生 年齢	59才	診療科別	検査料目	25年 7月 24日 0033
カルテNo.	11866	疾患	透析	検査	
検査項目		H.L.	成績	単位	基準値
PSA F/T比			0.05	ng/mL	
F-PSA			0.194	ng/mL	4,000以下
T-PSA			2.6	%	25以上
報告書					
コード	903-10044	施設名	医療法人 山下医院	検査日	112090165 11月 19日 時
氏名		性別	男：二外人病棟	受付日	25年 11月 20日
生年月日	S 29年 2月 5日生 年齢	59才	診療科別	検査料目	25年 11月 20日 0042
カルテNo.	11866	疾患	透析	検査	
検査項目		H.L.	成績	単位	基準値
PSA			0.045	ng/mL	4,000以下
報告書					
コード	903-10044	施設名	医療法人 山下医院	検査日	022690156 2月 25日 時
氏名		性別	男：二外人病棟	受付日	26年 2月 26日
生年月日	S 29年 2月 5日生 年齢	60才	診療科別	検査料目	26年 2月 26日 0036
カルテNo.	11866	疾患	透析	検査	
検査項目		H.L.	成績	単位	基準値
PSA F/T比			0.01以下	ng/mL	
F-PSA			0.046	ng/mL	4,000以下
T-PSA			計算不可	%	25以上
F/T比					
F-PSAが感度以下のため、F/T比は算出できません。					

フコイダン症例紹介②

M. Y 67歳 女性

病名 右乳癌

フコイダン症例:M. Y 67歳 女性 病名 右乳癌

2009年2月初旬右乳房に腫瘍を触知し、大阪医療センター乳腺外来を紹介、
2月23日に右乳癌(T2,N0)と診断された。
術前化学療法(抗癌剤投与)を約6ヶ月受け、同年7月28日に乳房全摘手術を受けた。
術後は放射線照射療法を受けた。

当院では、乳癌の診断を受けた同2009年3月1日から、
ステムズ社のフコイダン飲用を開始した。
当初は1日100ml空腹時分2から開始し、2週間継続。
以後1日80ml空腹時分2を2週間継続。
以後1日60ml空腹時分2を2週間継続。
以後1日40ml空腹時分2を維持、現在まで継続。

同時に当院オリジナルのパパイア酵素含有サプリメント、
セレンパパイア一日4カプセル空腹時分2を全経過併用した。
CEA,NCC-ST-439,CA72-4,BCA225等の通常、乳癌に対して行う腫瘍マーカーは、
手術前当初から全て正常値であった。

これらの腫瘍マーカーは以後も全経過正常値である。

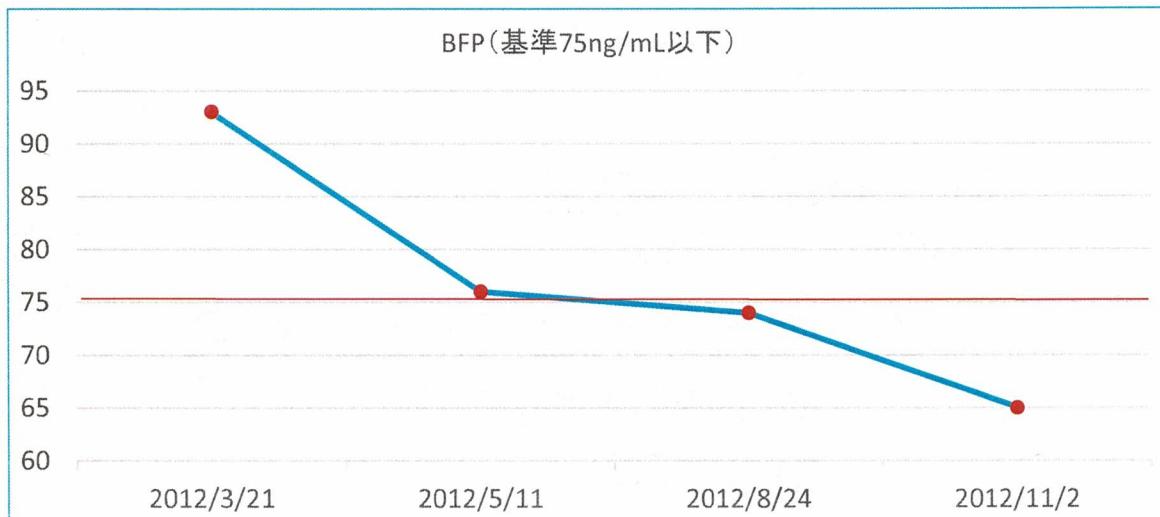
特に再発も認められず経過良好であったため、
2011年8月からフコイダンの飲用を中止していた。
セレンパパイアのサプリメントのみは継続していた。

フコイダン中止後約6ヶ月、偶然ではあるが上記の腫瘍マーカーのみならず、
それ以外の腫瘍マーカーであるBFPを計測してみた。
2012年3月19日、BFP正常値75ng/mlのところ、93ng/mlと高値であった。

フコイダン飲用一日50ml再開し、
2012年5月11日にはBFPは76ng/mlと下降し、
2012年8月24日にはBFPは74ng/mlと正常値に入った。
この時点でのフコイダン飲用は一日40mlに変更し、維持量とした。

更に2012年11月2日には65ng/mlと更に下降している。
以後、2015年1月30日現在まで、
BFPを含む全ての腫瘍マーカーは正常値を維持している。
胸部エコー、MRI検査等でも、乳癌再発は認められていない。
乳癌の診断を受けてからちょうど6年が経過しているが、
フコイダン一日40ml飲用とセレンパパイア一日4カプセル服用は継続している。
経過良好である。

フコイダン症例:M.Y 67歳 女性 病名 右乳癌



山下医院通院自然療法開始
超低分子フコイダン+セレンパパイヤ+手技療法

フコイダン 100mL~40mL/日

セレン・パパイヤ酵素サプリメント 4粒/日

報告書					
コード	903-10044	施設名	医療法人 山下医院	受付番	032198131
氏名		性別	女 外人 患者	採取日	3月19日 晴
生年月日	S 20年 6月 9日生 年齢 66才	就労状況		検査日	24年 3月21日
カルテNo.	1232	医療	透析	解説	24年 3月30日
受付番	0057				
検査項目		測定値	単位	基準値	
酸 fosfataーゼ		6.7	I U/L	14.3以下	
BFP	H	9.3	ng/mL	7.5未満	
血清補体値		50.2	U/mL	29.0~48.0	
告書					
コード	903-10044	施設名	医療法人 山下医院	受付番	051190214
氏名		性別	女 外人 患者	採取日	月 日 晴
生年月日	S 20年 6月 9日生 年齢 66才	就労状況		検査日	24年 5月11日
カルテNo.	1232	医療	透析	解説	24年 5月18日(2) 0048
検査項目		測定値	単位	基準値	
BFP	H	7.6	ng/mL	7.5未満	
抗p53抗体		0.40以下	U/mL	1.30以下	
血清補体値		42.0	U/mL	29.0~48.0	
報告書					
コード	903-10044	施設名	医療法人 山下医院	受付番	082490196
氏名		性別	女 外人 患者	採取日	月 日 晴
生年月日	S 20年 6月 9日生 年齢 67才	就労状況		検査日	24年 8月24日
カルテNo.	1232	医療	透析	解説	24年 8月28日(1) 0048
検査項目		測定値	単位	基準値	
BFP		7.4	ng/mL	7.5未満	
血清補体値		31.9	U/mL	29.0~48.0	
報告書					
コード	903-10044	施設名	医療法人 山下医院	受付番	110290200
氏名		性別	女 外人 患者	採取日	月 日 晴
生年月日	S 20年 6月 9日生 年齢 67才	就労状況		検査日	24年 11月 2日
カルテNo.	1232	医療	透析	解説	24年 11月 9日 0057
検査項目		測定値	単位	基準値	
BFP		6.5	ng/mL	7.5未満	
血清補体値	H	49.7	U/mL	29.0~48.0	

フコイダン症例紹介③

M.S 46歳 女性

病名：両側卵巣癌（術後）再発
両側癌性胸膜炎、
胸水貯留
癌性腹膜症
腹水貯留

フコイダン症例:M.S 46歳 女性

病名：両側卵巣癌（術後）再発／両側癌性胸膜炎、胸水貯留／癌性腹膜症、腹水貯留

病歴：

2007年より国立大阪病院にて子宮筋腫の経過観察をされていた。直腸部子宮内膜症の指摘有り、ディナゲストを内服するも、鬱症状が出現したため中止。その後、北野病院にてチョコレート嚢腫の経過観察されていたが、サイズ著変は認めなかった。

2013年1月、帶下の増量を主訴に近医受診しエコーで左卵巣が5cmに腫大。充実性でCA125が71 IU/ml、SCC抗原が2.1 ng/mlと上昇、同院にてMRI施行したところ左付属器にT2強調画像で不均一に造影される充実性腫瘍部分を認めたため左卵巣癌の疑いで、手術目的で2013年2月8日入院となった。入院時所見は、エコーにて左卵巣が55×54mm、内容は高輝度で不均一、同日の腫瘍マーカーはCA125が71 IU/ml、SCC抗原が8.6ng/ml、CEAが8.6ng/mlであった。

同年2月12日、開腹手術を受け、単純子宮全摘、両側付属器切除、骨盤内リンパ節、傍大動脈リンパ節切除、大網切除術施行。また術中迅速腹水細胞診が陽性であったため、腹腔内CDDP投与施行。術後診断は、左卵巣癌であった。

術後すぐにTC療法（タキソール、カルボプラチ）ンとCPT-11投与施行。

術後に著名な腹部膨満および右胸水貯留を認めた。

右胸腔ドレナージ施行したところ、乳び胸水であったため脂肪制限食に変更の上、リンパマッサージ指導施行。

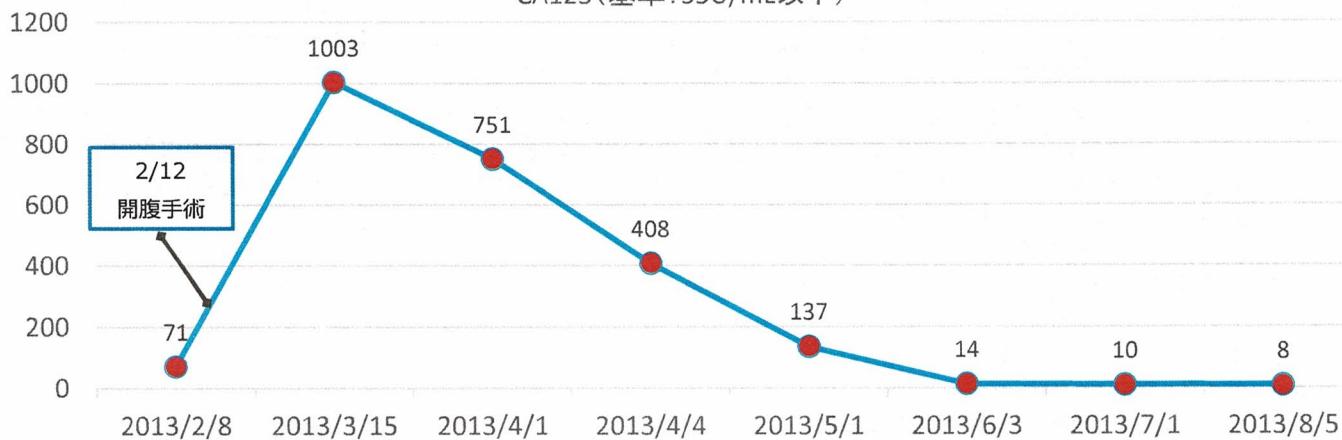
同年3月5日一次退院、3月15日再入院。

TC療法（タキソール、カルボプラチ）ン追加施行後、3月24日退院となった。

M.S 46歳 女性 病名:両側卵巣癌(術後)再発

両側癌性胸膜炎、胸水貯留、癌性腹膜症、腹水貯留

CA125(基準:35U/mL以下)



手術
抗癌剤

山下医院通院自然療法開始
超低分子フコイダン+セレン・パパイヤ+手技療法

フコイダン
100mL/日(2W)

80mL/日
(2W)

60mL/日
(2W)

40mL/日(2W)

セレン・パパイヤ酵素サプリメント

診察券番号 06150411
氏名 [REDACTED]

生年月日 1966-08-07 46歳 8ヶ月
性別 女

山力日時 2013-08-05 10:00

	産婦						
	2013-03-04	2013-03-15	2013-03-18	2013-03-22	2013-04-01	2013-04-17	2013-05-01
GOT(AST)	16	12		22	15	13	14
GPT(ALT)	12	9		18	15	9	14
LDH(JSCC)	164	190		193	167	- 170	
γ-GTP	31	22		27	35	23	31
総ビリルビン	0.3	0.3		0.3	0.3	0.3	0.3
總蛋白	L 5.7	L 6.1		7.2再検査	6.9	7.0	
γ/G比	3.4	3.7		4.5再検査	4.2	4.3	
尿素窒素	8.4	9.4		10.4	12.1	13.3	
尿酸	5.6	5.6		4.2	6.0	6.4	5.3
クレチニン	1.04	0.91		0.83	0.87	0.81	0.74
BUN/CRE比	8	10			12	15	18
推算GFR	L 46	L 53		L 59	L 56	L 60	L 66
ナトウキ	140再検査	141再検査			143	143	142
カリウム	H 5.2再検査	4.2再検査		4.1	3.6	4.0	4.2
クロール	105再検査	107再検査			105	107	106
Na-CI差	35	34			38	36	36
CRP	0.27	0.28		H 1.18	0.24	0.06	0.07
CEA				4.2再検査	4.5		4.2
CA 19-9					8.4		5.5
CA125			H 1003再検査		H 751再検査		H 155[?]暫定
RBC(赤血球)	L 372	L 325	L 331	L 362	L 348	L 332	L 325

診察券番号 06150411
氏名 [REDACTED]

生年月日 1966-08-07 46歳 8ヶ月
性別 女

出力日時: 2013-08-05

	産婦						
	2013-05-01	2013-05-20	2013-06-03	2013-06-17	2013-07-01	2013-07-17	2013-08-05
GOT(AST)	14	13	20再検査	17	16	15	14
GPT(ALT)	14	10	29再検査	20	16	12	13
LDH(JSCC)	170	169	194	196	170	175	191
γ-GTP	31	27	51	42	45	31	36
総ビリルビン	0.3	0.4	0.3	0.6	0.4	0.4	0.4
總蛋白	7.0	7.1	7.5	7.8	7.3	7.5	7.8
γ/G比	4.3	4.4	4.6	4.8	4.6	4.7	4.8
尿素窒素	1.59	1.63	1.59	1.60	1.70	1.68	1.60
尿酸	13.3	13.2	14.5	15.3	14.1	17.4	18.0
クレチニン	5.3	6.0	H 6.2	H 7.0	H 6.2	H 6.8	H 6.4
BUN/CRE比	18	17	20	20	19	22	23
推算GFR	L 66	L 63	L 67	L 64	L 65	L 61	L 62
ナトウキ	142	142	140	142	140	141	139
カリウム	4.2	4.2	4.1	4.2	4.3	4.1	4.5
クロール	106	107	108	105	105	105	102
Na-CI差	36	35	34	37	35	36	37
CRP	0.07	0.04	0.04	0.07	0.04	0.04	0.05
CEA	4.2	3.3	3.3	3.2	3.2	3.0	3.5
CA 19-9	5.5	7.0					
CA125	H 137再検査		14再検査		10		8
RBC(赤血球)	L 325	I 315	I 304	I 290	I 285	I 280	I 285
HGB(血色素)	L 9.6	L 9.8	L 9.5	L 10.8	L 9.4	L 9.7	L 10.2
HBsAg	I 29.5	I 28.9	I 30.8	I 27.2	I 29.2	I 29.9	I 33

フコイダン症例 経過・結果

当院初診は一次退院中の3月14日であった。

自然療法の併用を希望されたので、当院からは超低分子フコイダンとサプリメントのセレン・パパイヤとの併用飲用を指示した。当方による手技療法も施行した。また、抗癌剤で全くの全禿頭になっておられたので、当院開発の禿頭用シャンプーと育毛ローションを進呈した。

経過：驚くべき効果が現れ、当方も患者さん自身も、涙ながらに喜んだ。腫瘍マーカーが劇的に降下し正常値になったばかりか、全禿頭だった頭皮に、何と、黒く太い毛髪が生えてきた。薄茶色になっていた頭皮は、高校生の坊主頭の様に、青く見えるのである。

これは、頭皮が健全になった事を意味する。

当初の写真を撮っておかなかった事を、当方も患者さんも後悔している。

CA125(基準:35U/ml以下)

2013年2月8日 71 IU/ml

2013年2月12日 開腹手術・抗癌剤投与

2013年3月4日 1003 IU/ml (山下医院診察開始)

2013年4月1日 751 IU/ml

2013年5月1日 137 IU/ml

2013年6月3日 14 IU/ml(ここから正常値)

2013年7月1日 10 IU/ml

その後、

3月中旬以降は、抗癌剤の副作用である気分不良や吐き気や全身倦怠も無く、また、胸水も腹水も貯留無く、外出時も全く疲れなくなった。2015年1月現在も延命中である。

フコイダン症例紹介④

A.Y. 34歳 女性

病名：B型肝炎（母子感染）

フコイダン症例⑤ A.Y 34歳 女性

病名:B型慢性肝炎

家族歴:母HBVcarrier 母子感染

病歴:以前から母子感染のB型肝炎である事は認識していた。

健康診断でGPT 117と高値、HBS抗原陽性を指摘され、2008年12月27日、大阪済生会中津病院を受診、加療を受けていた。

HBV-DNA定量7.6 log copy/mlと高値、肝臓生検でChronic hepatitis type B(F1/A1)で、まだ肝硬変に向けて線維化は進んでは進んではいなかったが、GPTは高値のまま下降せず、インターフェロン投与を病院から勧められた。

しかし肝臓線維化の進展、肝硬変への移行、劇症化や肝細胞癌の発生の危険性も説明されたが、一度もGPT改善が見られていない病院からの説明に信頼がおけず、姉が同じB型肝炎で当院での治療にて完治した事実を知り、2010年4月15日、当院を受診した。それまでの治療は肝庇護剤の注射、肝庇護剤と利胆剤の服用であった。

当院でフコイダンの飲用とサプリメント(セレンパパイア)の服用を開始した。フコイダンは、最初の2週間は100ml/日、次の2週間は80ml/日、次の2週間は60ml/日、以後は40ml/日で維持量とした。

初診時、2010年4月15日 GPT 312、HBe抗原定量357.0 S/CO値(正常1.0未満)、ADA 50.3 IU/L(正常8.6~20.5)であった。

約3ヵ月後の2010年7月22日、GPT 47、HBe抗原定量13.1 S/CO値、ADA27.8と改善した。当人としては、GPTが100以下になったのは、この2年間で初めての事であった。

しかしGPTが正常化したため、8月以降サプリメントのセレンパパイアのみの服用となり、フコイダンは患者が自動的に中止してしまった。

経済的問題がその理由であるが、フコイダンを優先するべきであったと考える。

2010年10月25日の採血で、GPTが再び130に上昇した。

そこで患者は反省し、2010年12月1日から再びフコイダン40ml/日を復活させ、セレンパパイア4カプセル/日と併用した。

翌年平成23年2月17日の採血では、GOT 29,GPT 29,HBe抗原定量2.57,ADA 26.0と、見事にデータは改善した。

その後、当患者は同治療を約2ヶ月継続し、インターフェロンを勧めた病院を受診、肝機能の採血データが殆ど正常化しているので驚かれたと言う

A.Y. 34歳 女性 病名:B型肝炎

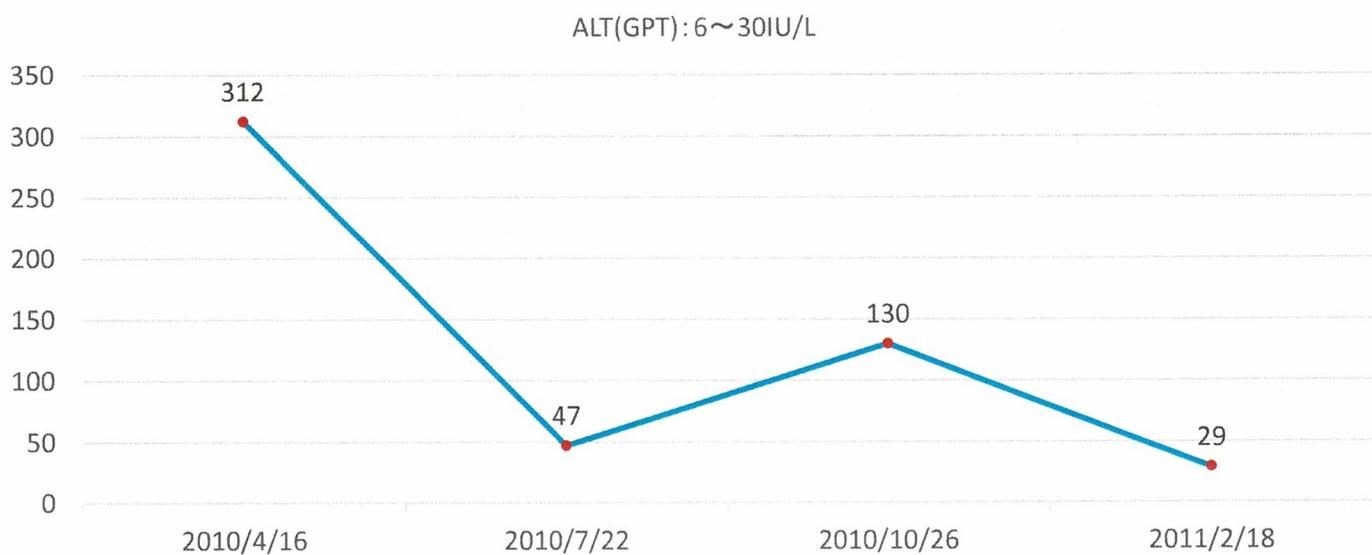
	2010/4/16	2010/7/22	2010/10/26	2011/2/18
AST(GOT) 13~33IU/L	220	33	73	29
ALT(GPT) 6~30IU/L	312	47	130	29
γ-GTP 10~47IU/L	28	16	62	15
Hbe抗原 1.0未満	357	13	14.3	2.57
ADA 8.6~20.5IU/L	50.3	27.8	37.8	26

山下医院通院自然療法開始+セレン・パパイヤ

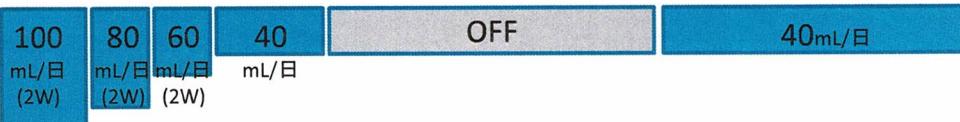
フコイダン 100ml/日→40ml/日

OFF

40ml/日



フコイダン



セレン・パパイヤ

医療法人		山下		医療法人		山下医療法人		医療法人		山下医	
041630005 22/04/16	新規登録	0722290022 22/07/26	新規登録	102650006 22/07/26	新規登録	021690022 23/02/18	新規登録	0722290022 22/07/26	新規登録	021690022 23/02/18	新規登録
疾患名	既往歴	成績	成績	成績	成績	成績	成績	成績	成績	成績	成績
総蛋白	7.7	7.5	8.7	7.5	8.7	7.2	7.5	7.5	7.5	7.2	7.5
アルブミン	4.0	4.2	4.9	4.2	4.9	4.0	4.2	4.2	4.2	4.0	4.2
アルブミン	6.0~8.0	6.0~8.0	6.0~8.0	6.0~8.0	6.0~8.0	6.0~8.0	6.0~8.0	6.0~8.0	6.0~8.0	6.0~8.0	6.0~8.0
A/G	1.0~2.4	1.0~2.4	1.0~2.4	1.0~2.4	1.0~2.4	1.0~2.4	1.0~2.4	1.0~2.4	1.0~2.4	1.0~2.4	1.0~2.4
白	5.6~7.0	5.6~7.0	5.6~7.0	5.6~7.0	5.6~7.0	5.6~7.0	5.6~7.0	5.6~7.0	5.6~7.0	5.6~7.0	5.6~7.0
α1	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7
β	6.6~11.3	6.6~11.3	6.6~11.3	6.6~11.3	6.6~11.3	6.6~11.3	6.6~11.3	6.6~11.3	6.6~11.3	6.6~11.3	6.6~11.3
分	B	6.4~10.2	6.4~10.2	6.4~10.2	6.4~10.2	6.4~10.2	6.4~10.2	6.4~10.2	6.4~10.2	6.4~10.2	6.4~10.2
β	2.0~5.5	2.0~5.5	2.0~5.5	2.0~5.5	2.0~5.5	2.0~5.5	2.0~5.5	2.0~5.5	2.0~5.5	2.0~5.5	2.0~5.5
γ	1.6~3.4	1.6~3.4	1.6~3.4	1.6~3.4	1.6~3.4	1.6~3.4	1.6~3.4	1.6~3.4	1.6~3.4	1.6~3.4	1.6~3.4
蛋白	A/G	1.1~3.3	1.1~3.3	1.1~3.3	1.1~3.3	1.1~3.3	1.1~3.3	1.1~3.3	1.1~3.3	1.1~3.3	1.1~3.3
総ビリルビン	0.3~1.2	0.3~1.2	0.5	0.3~1.2	0.3~1.2	0.6	0.3~1.2	0.3~1.2	0.5	0.3~1.2	0.3~1.2
直接ビリ	0.1~0.9	0.1~0.9	0.4	0.1~0.9	0.1~0.9	0.6	0.1~0.9	0.1~0.9	0.3	0.1~0.9	0.1~0.9
bilirubin	0~1.2	0~1.2	0.5	0~1.2	0~1.2	0.6	0~1.2	0~1.2	0.5	0~1.2	0~1.2
尿素	11.0~20.0	11.0~20.0	18.0	11.0~20.0	11.0~20.0	19.0	11.0~20.0	11.0~20.0	18.0	11.0~20.0	11.0~20.0
尿酸	3.0~7.0	3.0~7.0	5.8	3.0~7.0	3.0~7.0	5.8	3.0~7.0	3.0~7.0	5.8	3.0~7.0	3.0~7.0
尿酸	2.0~7.0	2.0~7.0	5.8	2.0~7.0	2.0~7.0	5.8	2.0~7.0	2.0~7.0	5.8	2.0~7.0	2.0~7.0
尿酸	2.0~7.0	2.0~7.0	5.8	2.0~7.0	2.0~7.0	5.8	2.0~7.0	2.0~7.0	5.8	2.0~7.0	2.0~7.0
Hb	135~145	135~145	140	135~145	135~145	135	135~145	135~145	140	135~145	135~145
Hct	38~45	38~45	40	38~45	38~45	40	38~45	38~45	40	38~45	38~45
CCI	90~100	90~100	103	90~100	90~100	103	90~100	90~100	103	90~100	90~100
IP	3~10	3~10	5	3~10	3~10	5	3~10	3~10	5	3~10	3~10
血清鉄	51~198	51~198	131	51~198	51~198	148	51~198	51~198	167	51~198	51~198
TIBC	241~441	241~441	394	241~441	241~441	394	241~441	241~441	394	241~441	241~441
UIBC	24~52	24~52	39	24~52	24~52	39	24~52	24~52	39	24~52	24~52
総コレステロール	130~210	130~210	131	130~210	130~210	148	130~210	130~210	167	130~210	130~210
HDLコレステロール	40~90	40~90	71	40~90	40~90	61	40~90	40~90	48	40~90	40~90
中性脂肪	30~140	30~140	48	30~140	30~140	82	30~140	30~140	93	30~140	30~140
LDLコレステロール	65~130	65~130	71	65~130	65~130	71	65~130	65~130	90	65~130	65~130
リソボル質	150~250	150~250		150~250	150~250		150~250	150~250		150~250	150~250
チモール	4.0~11.0	4.0~11.0	23.1	4.0~11.0	4.0~11.0	19.3	4.0~11.0	4.0~11.0	29.0	4.0~11.0	4.0~11.0
チモケル	1.5~12	1.5~12	1	1.5~12	1.5~12	3.7	1.5~12	1.5~12	7.3	1.5~12	1.5~12
AST(GOT)	15~130	15~130	512	15~130	15~130	477	15~130	15~130	130	15~130	15~130
ALT(GPT)	6~30	6~30	512	6~30	6~30	173	6~30	6~30	217	6~30	6~30
γ-GT(γGT)	11~100	11~100	669	11~100	11~100	560	11~100	11~100	85	11~100	11~100
L LAP	11~229	11~229	212	11~229	11~229	212	11~229	11~229	166	11~229	11~229
L DLD	11~229	11~229	212	11~229	11~229	212	11~229	11~229	257	11~229	11~229
T GGT-P	10~47	10~47	240	10~47	10~47	267	10~47	10~47	257	10~47	10~47
γ-GT(γGT)	41~161	41~161	240	41~161	41~161	267	41~161	41~161	257	41~161	41~161
C PK	10~120	10~120	11	10~120	10~120	11	10~120	10~120	11	10~120	10~120
アミラーゼ	42~132	42~132	50	42~132	42~132	56	42~132	42~132	63	42~132	42~132
血糖(グルコース)	69~109	69~109	89	69~109	69~109	90	69~109	69~109	84	69~109	69~109
Hb Aic	4.2~9.8	4.2~9.8		4.2~9.8	4.2~9.8		4.2~9.8	4.2~9.8		4.2~9.8	4.2~9.8
R A	-	-	-0.07	-	-	-0.04	-	-	-0.08	-	-0.03
CRP	0~10	0~10	0.07	0~10	0~10	0.04	0~10	0~10	0.08	0~10	0~10
ASO	10~650	10~650	1	10~650	10~650	4500	10~650	10~650	3800	10~650	10~650
白血球	3.3~10.0	3.3~10.0	3.0	3.3~10.0	3.3~10.0	4.31	3.3~10.0	3.3~10.0	4.16	3.3~10.0	3.3~10.0
好中球	1.0~8.0	1.0~8.0	0.4	1.0~8.0	1.0~8.0	1.05	1.0~8.0	1.0~8.0	1.05	1.0~8.0	1.0~8.0
Ht	38.8~99	38.8~99	95	38.8~99	38.8~99	40.5	38.8~99	38.8~99	42.5	38.8~99	38.8~99
MCV	89.5~100	89.5~100	95.1	89.5~100	89.5~100	93.7	89.5~100	89.5~100	91.1	89.5~100	89.5~100
MCH	27.0~32.0	27.0~32.0	32.3	27.0~32.0	27.0~32.0	31.3	27.0~32.0	27.0~32.0	32.2	27.0~32.0	27.0~32.0
MCHC	31.0~37.0	31.0~37.0	37.8	31.0~37.0	31.0~37.0	33.4	31.0~37.0	31.0~37.0	34.5	31.0~37.0	31.0~37.0
血小板数	1.0~38.8	1.0~38.8	10.0	1.0~38.8	1.0~38.8	14.4	1.0~38.8	1.0~38.8	11.8	1.0~38.8	1.0~38.8
網赤状血球数	1.0~27	1.0~27		1.0~27	1.0~27		1.0~27	1.0~27		1.0~27	1.0~27
S t	6~7	6~7	6	6~7	6~7	4	6~7	6~7	3	6~7	6~7
S o	60~63	60~63	63	60~63	60~63	56	60~63	60~63	53	60~63	60~63
M o	0~1	0~1	0	0~1	0~1	1	0~1	0~1	1	0~1	0~1
L y	22~46	22~46	26	22~46	22~46	32	22~46	22~46	35	22~46	22~46
分	B a	0~1	0	0~1	0	0	0~1	0~1	1	0~1	0~1
Erybl	0~1	0~1	0	0~1	0~1	0	0~1	0~1	0	0~1	0~1
類型	Ly	0~1	0	0~1	0	0	0~1	0~1	0	0~1	0~1

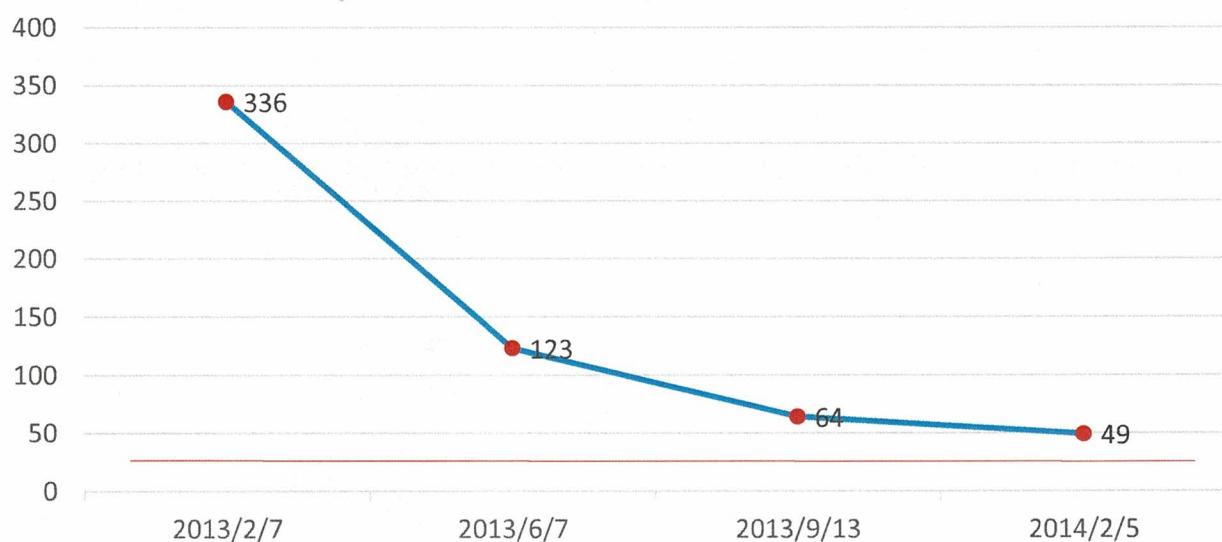
報告書		検査項目	H.I.	成績	備考
コード	氏名				
90 3 10044	山下院	医療法人 山下医院			
姓 名 30代 男	性別	性別	女	外、入、病	科
生年月日 S 50年 8月 20日	年齢	年齢	34	才	診療科目
カルテNo. 11146	検査	検査	透析		既往歴
検査項目		H.I.	成績	備考	
ADA		H	50.3		I
HIV型コラーゲン		(+)	103		S
H B e 抗原		(+)	357.00		I
H B V-DNA 定量				7.8	L
定量結果				(+)	n
増幅反応シグナル				4.9	I
A F P 精密					
報告書		検査項目	H.I.	成績	備考
コード	氏名				
90 3 10044	山下院	医療法人 山下医院			
姓 名 30代 男	性別	性別	女	外、入、病	科
生年月日 S 50年 8月 20日	年齢	年齢	34	才	診療科目
カルテNo. 11146	検査	検査	透析		既往歴
検査項目		H.I.	成績	備考	
ADA		H	27.8		I
H B e 抗原		(+)	13.10		S
報告書		検査項目	H.I.	成績	備考
コード	氏名				
90 3 10044	山下院	医療法人 山下医院			
姓 名 30代 男	性別	性別	女	外、入、病	科
生年月日 S 50年 8月 20日	年齢	年齢	34	才	診療科目
カルテNo. 11146	検査	検査	透析		既往歴
検査項目		H.I.	成績	備考	
ADA		H	37.8		I
H B e 抗原		(+)	14.30		S
H B c 抗体・總		(+)	15.03		I
H B V-DNA 定量				6.8	S
定量結果				(+)	L
増幅反応シグナル					
報告書		検査項目	H.I.	成績	備考
コード	氏名				
90 3 10044	山下院	医療法人 山下医院			
姓 名 30代 男	性別	性別	女	外、入、病	科
生年月日 S 50年 8月 20日	年齢	年齢	35	才	診療科目
カルテNo. 11146	検査	検査	透析		既往歴
検査項目		H.I.	成績	備考	
ADA		H	26.0		I
H B s 抗原定量精密		(+)	5000以上		I
H B e 抗原		(+)	【再検済】		S
			2.57		

フコイダン症例紹介⑤

58才 女性

病名：膵臓癌の疑い

CA-19-9(基準37U/mL以下)



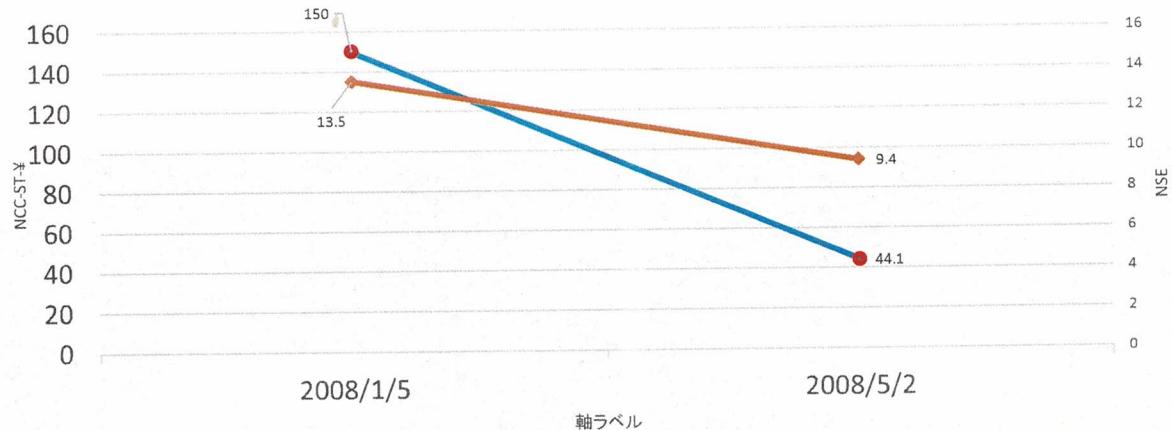
山下医院通院自然療法開始

40mL／日

フコイダン症例紹介

50才 女性

病名：左肺癌



山下医院通院自然療法開始

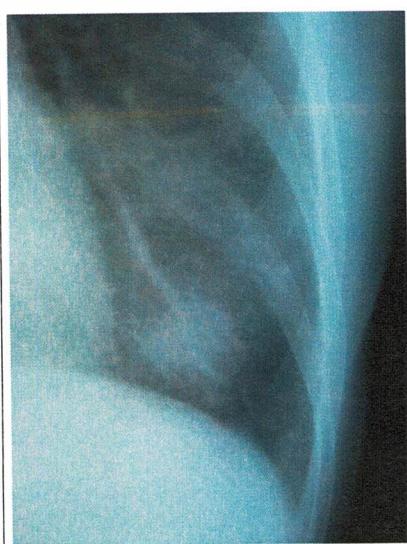
100 mL/日 (2W) 80 mL/日 (2W) 60 mL/日 (2W) 40mL/日

セレン・パパイヤ

2007年6月26日

2008年1月24日

2008年2月5日



2007年12月21日



2008年3月7日

